

Ⅱ 生涯学習関係の重要施策と予算概要

1 千葉市新基本計画 第1次実施計画（平成24～26年度）

（※事業名の前の「●」は、計画事業費を計上する事業。「■」は、計画事業費を計上しない事業。）

方向性3 豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ

3-1 未来を担う人材を育成する

3-1-2 地域の教育力の向上

●特別教室開放の推進（生涯学習振興課）

こどもの健全育成や地域活動の活性化を図るため、地域住民などの参画により、小学校の特別教室を開放します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
実施校の拡充	2 か所	3 か所	5 か所

■放課後子ども教室の推進（生涯学習振興課）

放課後における児童の安全・安心な居場所を確保するため、地域住民などの参画により、様々な活動の機会を提供します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
参加指導員・協力員数	37,000 人/年	11,000 人/年増	48,000 人/年
参加児童数	126,000 人/年	36,000 人/年増	162,000 人/年

■家庭教育を支援する学習の推進（生涯学習振興課）

家庭教育を支援し子育ての不安や悩みを解消するため、公民館などで相談事業や学習講座を実施します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
公民館主催事業	100 事業	18 事業増	118 事業
家庭教育支援チーム	1 区	1 区増	2 区
子育てサポーター	3 人/区	3 人/区増	6 人/区

3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

3-2-1 生涯学習の推進

1 地域づくりを支援する生涯学習の推進

■地域づくりにつながる学習講座の推進（生涯学習振興課）

地域活動に携わる人材を養成するため、公民館や生涯学習センターで学習講座を開催します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
地域活動に係る人材養成	890 人/年	50 人/年増	940 人/年

■放課後子ども教室の推進（生涯学習振興課） 【再掲】

■家庭教育を支援する学習の提供（生涯学習振興課） 【再掲】

2 社会教育施設の充実

●公民館の改築（生涯学習振興課）

市民の生涯学習環境を改善するため、老朽化の著しい公民館を改築します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
犢橋公民館の改築	—	基本設計	基本設計

●公民館の改修（生涯学習振興課）

市民の生涯学習環境を改善するため、老朽化の著しい公民館を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
冷暖房改修	—	4 館	4 館
屋上防水改修	—	8 館	8 館
トイレ改修	—	11館	11 館

■読書環境整備の推進（中央図書館管理課）【新規】

良好な読書環境を整備するため、ICTの活用や施設の機能更新など、読書環境の整備にかかる計画を策定します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
計画の策定	—	調査、策定	策定

●図書館の改修（中央図書館管理課）

市民の読書環境を改善するため、老朽化した図書館を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
みやこ図書館	—	空調設備改修	空調設備改修完了

●南部青少年センターの改修（生涯学習振興課）

市民の生涯学習環境を改善するため、南部青少年センターの設備を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
1階フロア	—	バリアフリー化、ラウンジ段差解消、女子トイレ改修	バリアフリー化完了
ホール	—	床、客席等改修	改修完了

3 科学・技術に気軽に親しめる環境づくり

■科学都市戦略の推進（経済企画課、指導課、生涯学習振興課）

科学・技術を身近に感じることができ環境を創出するため、企業や大学、NPO等との連携を推進し、科学フェスタにおける事業数を拡充します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
科学フェスタ事業数	173 事業	27 事業増	200 事業

3-3-2 文化的財産の保全と活用

●加曽利貝塚の出土資料整理（生涯学習振興課）【新規】

加曽利貝塚の特別史跡指定を目指すため、出土資料の再整理を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
出土資料の再整理	—	実施	完了

●博物館の耐震改修（生涯学習振興課）

耐震性の低い施設の安全性の向上を図るため、博物館の施設の耐震補強改修を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
加曽利貝塚博物館耐震補強	—	工事	工事

●文化財等の保存・活用の推進（生涯学習振興課）

市内の歴史的建造物の保存・活用などを推進するため、調査を実施します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
旧検見川無線送信所	—	文化財調査	文化財調査

3-4-2 大学・企業等との連携の推進

■科学都市戦略の推進（経済企画課、指導課、生涯学習振興課）【再掲】

2 第4次千葉市生涯学習推進計画（平成23～27年度）

1 策定の経緯

(1) 計画策定の趣旨

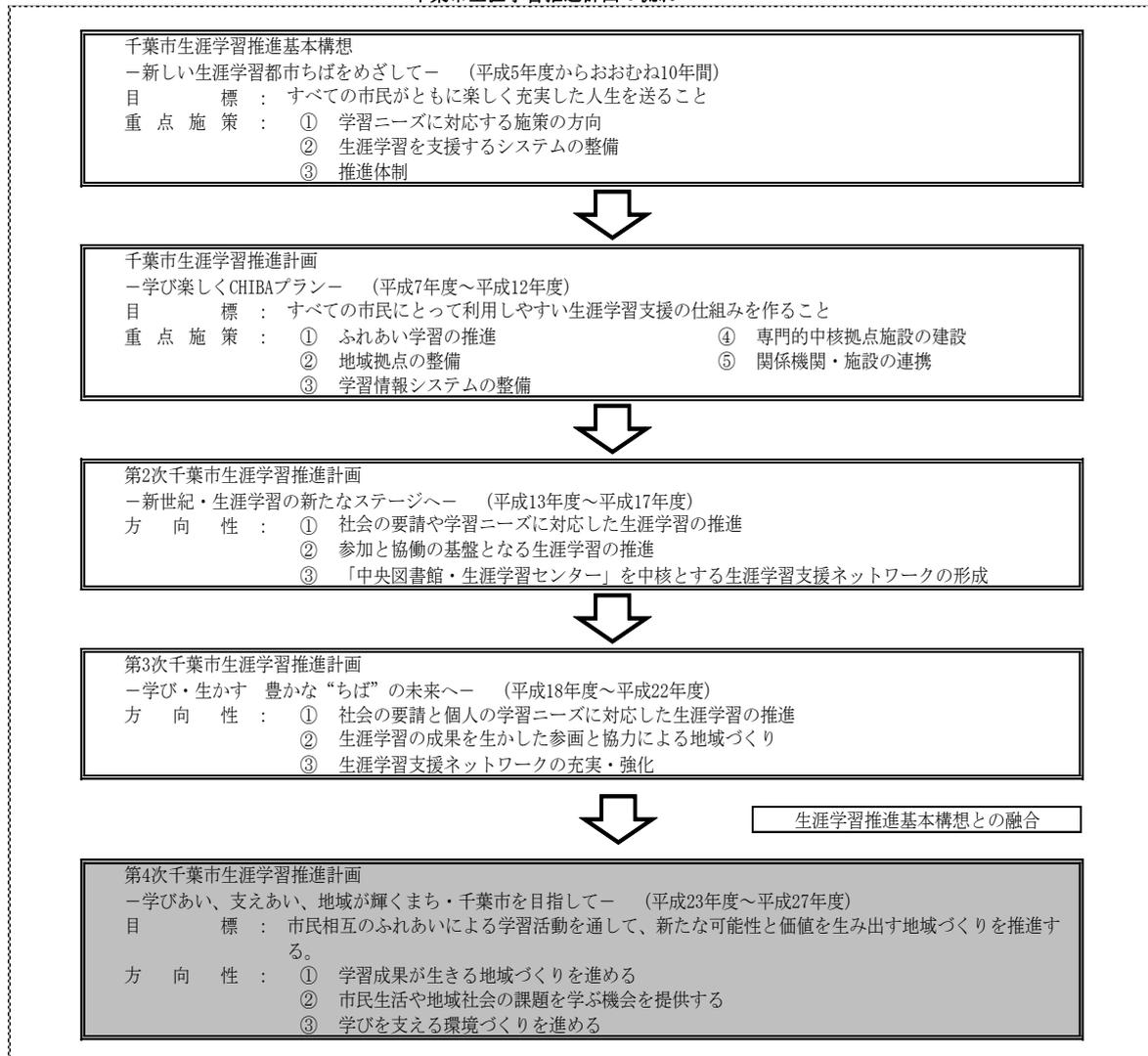
少子高齢社会の進展、人口減少社会の到来、地球温暖化の進行など社会情勢や財政状況など、本市を取り巻くこれらの環境の変化や第3次千葉市生涯学習推進計画の成果と課題を踏まえ、本市が今後、生涯学習振興行政を展開する上での目標や施策の方向性、事業体系を明らかにするため、「第4次千葉市生涯学習推進計画」を策定したものである。

(2) これまでの生涯学習推進施策

平成2年「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」の施行など、社会における生涯学習に対する意識の醸成の中、本市においても、全国的な学校中心の教育体系から生涯学習体系への移行という当時の課題を視野に入れ、千葉市総合基本計画（平成3年3月策定）を生涯学習の面から総合的に推進するための個別部門計画として、平成5年3月に、生涯学習に関する本市の施策の基本的な方向性を示す「千葉市生涯学習推進基本構想－新しい生涯学習都市ちばをめざして－」を策定した。以降、千葉市生涯学習基本構想に基づき、平成7年に「千葉市生涯学習推進計画－学び楽しくCHIBAプラン－」、平成13年に「第2次千葉市生涯学習推進計画－新世紀・生涯学習の新たなステージへ－」、平成18年に「第3次千葉市生涯学習推進計画－学び・生かす 豊かな“ちば”の未来へ－」を策定してきた。第2次千葉市生涯学習推進計画以降においては、前次の計画における施策の成果と課題、及び生涯学習市民意識調査（平成16年9月及び平成21年10月実施）の結果などを踏まえ、施策の方向性を明らかにした上で、関連諸施策を計画に体系的に位置づけ、事業を推進してきた。

千葉市生涯学習推進基本構想は、その対象期間を平成5年度より、おおむね10年間を見通すものとしており、第3次千葉市生涯学習推進計画までは、「生涯学習推進基本構想」とそれに基づく基本計画という体系で施策、事業を推進していたものの、学習活動を取り巻く環境の変化や国の動きなどに、よりの確かつ柔軟に対応するため、第4次千葉市生涯学習推進計画からは基本構想と基本計画を融合し、生涯学習振興施策を推進することとした。

千葉市生涯学習推進計画の流れ



(3) 計画策定の考え方

中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」（平成20年2月）及び国の教育振興基本計画（平成20年7月）など知の循環型社会の構築、学校、家庭、地域の連携・協力の強化による社会全体の教育力の向上等を掲げる国の動きを踏まえ、「一人ひとりの市民の持つ知識や経験」が地域づくりに生きる社会を目指す。

(4) 計画の位置づけ

平成23年度に策定する千葉市新基本計画の策定作業を踏まえ、千葉市新総合ビジョンの個別部門計画の位置づけとなる。

2 計画の方向性

第4次推進計画では、3つの施策展開の方向性に基づき施策を推進する。

(1) 施策展開の方向性1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

市民一人ひとりが豊かな人生を送るために、そして、それぞれの地域が輝くために、何より学びの成果が生きることが重要であることから、「地域での学習活動を支援する」、「参加と協働により学習支援施設での事業を進める」、「学習成果を発表する機会をつくる」の3つの基本施策により、学習成果が「生きる」地域づくりを進める。

基本施策1	地域での学習活動を支援する	49事業
基本施策2	参加と協働により学習支援施設での事業を進める	13事業
基本施策3	学習成果を発表する機会をつくる	15事業

(2) 施策展開の方向性2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

学習成果が地域で生きる仕組みを構築するためには、その基盤となる学習機会の提供が必要であることから、「地域づくりにかかわる学習機会を提供する」、「子どもを守りはぐくむ学習機会を提供する」、「今日的課題についての学習機会を提供する」、「『ちばを学び創る』学習機会を提供する」の4つの基本施策により、市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する。

基本施策4	地域づくりにかかわる学習機会を提供する	45事業
基本施策5	子どもを守りはぐくむ学習機会を提供する	39事業
基本施策6	今日的課題についての学習機会を提供する	66事業
基本施策7	「ちばを学び創る」学習機会を提供する	29事業

(3) 施策展開の方向性3 学びを「支える」環境づくりを進める

学習成果が地域で生きる仕組みを構築するためには、その基盤となる学習機会の提供とあわせて地域活動や学習活動を進めるための環境整備が必要となることから、「学習活動に関する情報発信と相談を進める」、「学習支援施設を運営する」、「学習活動に関する調査研究を進める」の3つの基本施策により、学びを「支える」環境づくりを進める。

基本施策8	学習活動に関する情報発信と相談を進める	15事業
基本施策9	学習支援施設を運営する	27事業
基本施策10	学習活動に関する調査研究を進める	6事業

3 平成25年度千葉市教育施策

(生涯学習関係抜粋、「◎」は重点事業を示す)

目標Ⅰ 未来を担う人材を育成する

1 わかる授業を推進し、自ら学ぶ力を身に付けさせる

(2) 学びを深め、広げる教育の推進

①科学教育の振興

事務事業名	事業内容	備考
◎科学教育の推進	科学に高い関心を持つ中高生を対象に「未来の科学者育成プログラム」を実施するとともに、中学校科学部の活性化を図るために、科学発表会「サイエンスクラブアセンブリー」を開催するほか、総合的な科学の祭典「科学フェスタ」を行う。 [生涯学習振興課・学事課・指導課]	

③科学館・図書館・博物館等の活用

事務事業名	事業内容	備考
○科学館を活用した授業の展開	科学館の展示やプラネタリウムを利用した学習、学校では体験できない実験などの機会を提供し、子どもたちの科学への興味、関心を高める。 [生涯学習振興課・指導課]	
○図書館の活用推進	自ら学び、知識の取得ができるように、調べ学習の支援や各種事業を行うとともに、図書館資料の充実に努める。 [中央図書館]	
○博物館・美術館・埋蔵文化財調査センター等との連携	加曽利貝塚博物館や郷土博物館では、子どもたちが実物を見たり触れたりすることを通じて、地域の歴史や昔の人の知恵に興味を持つ動機付けを行う。 また、美術館と連携し、子どもたちが優れた美術品を鑑賞したり、美術館等で職場体験を行ったりする機会を提供する。 [生涯学習振興課]	

2 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ

(3) 豊かな情操をはぐくむ教育の推進

②図書館との連携推進

事務事業名	事業内容	備考
○図書館図書の団体貸出の推進	学校での調べ学習や朝読書等に必要な資料を収集し、提供するとともに、図書館のホームページでの団体貸出用資料一覧の閲覧やレファレンスサービスの充実に努める。 [中央図書館]	
○図書館見学・職場体験やおはなし会の実施	子どもたちが、図書館の役割や仕事の内容を学ぶことができるように、図書館内の見学・職場体験・おはなし会を実施する。 [中央図書館]	
○子ども読書まつりの実施	学校や地域との協同により、子どもたちが読書に興味・関心を持つことができるように、昔ばなしの部屋や外国語おはなし会等各種イベントを実施する。 [中央図書館]	

4 家庭の教育力を高め、地域の教育力を生かす

(1) 地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実

①放課後等の子どもの居場所づくり

事務事業名	事業内容	備考
◎放課後子ども教室推進	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、放課後に学校施設などを利用し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに様々な活動の機会を提供する「放課後子ども教室」を全ての小学校で行う。 [生涯学習振興課]	

目標Ⅱ 生涯を通じた学びを支える

1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

事務事業名	事業内容	備考
○生涯学習振興	市民の学習活動を支援するため、生涯学習推進計画に基づき、生涯学習活動を推進する。 [生涯学習振興課・中央図書館]	
○社会教育振興	市民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、多様な学習ニーズや現代的な課題に対応した施策を展開する。 [生涯学習振興課]	
◎放課後子ども教室推進 [再掲]	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、放課後に学校施設などを利用し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに様々な活動の機会を提供する「放課後子ども教室」を全ての小学校で行う。 [生涯学習振興課]	

2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

事務事業名	事業内容	備考
○生涯学習センター管理運営	市民の学習活動を総合的に支援するため、生涯学習の拠点となる生涯学習センターの管理運営を行う。 1 生涯学習情報提供・学習相談の充実 2 学習事業の推進 3 学習ボランティア育成・活用 4 メディア学習の推進 [生涯学習振興課]	
◎公民館管理運営	地域住民の多様化する学習ニーズに対応し、各種学習機会を提供するほか、地域の生涯学習の拠点施設として市民サービスの向上に努める。 1 各種学級・講座（家庭教育、少年教育、成人教育など） 2 図書室運営 3 公民館維持管理 [生涯学習振興課]	
○南部青少年センター管理運営	青少年が主体的に自己の技能や教養の向上を図ることができる場や機会を提供するとともに、多様な主体に学習成果の発表の場を提供し、学習を通じた異世代間のふれあいや交流を支援する。 1 各種講座管理 2 施設維持管理 [生涯学習振興課]	

3 学びを「支える」環境づくりを進める

事務事業名	事業内容	備考
○特別教室開放推進	学校・家庭・地域の連携を図るため、土・日曜日に小学校の特別教室を地域活動、文化活動、生涯学習などの場として区民を対象に開放する。 瑞穂小学校（花見川区） 扇田小学校（緑区） 海浜打瀬小学校（美浜区） 緑町小学校（稲毛区）※平成25年10月から開始 [生涯学習振興課]	
○公民館改修	老朽化が進んでいる公民館の設備を改修し、施設環境の充実に努める。 1 冷暖房設備改修工事（こてはし台、みつわ台、若松） 2 屋根防水改修実施設計（山王、若松） 3 トイレ改修実施設計（加曽利） [生涯学習振興課]	

事務事業名	事業内容	備考
○図書館管理運営	<p>図書資料の整備を進め、身近で頼れる市民の図書館として充実した図書館サービスを提供する。 郷土資料について、劣化及び喪失を防ぎ、保存・提供するため、デジタル化する。</p> <p>1 図書資料整備 2 図書館維持管理 3 郷土資料のデジタル化</p> <p>[中央図書館]</p>	
○図書館改修	<p>みやこ図書館の空調設備改修などを行い、老朽化が進んでいる図書館の施設環境の充実に努める。</p> <p>[中央図書館]</p>	
○科学館管理運営	<p>科学に関する知識の普及・啓発や、子どもたちの探究心向上と青少年の創造力育成のため、参加体験型科学館の管理運営、ボランティア育成などを行う。</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	
○科学フェスタ	<p>市民が日常生活の中で、科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典として、科学フェスタを開催する。</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	
○未来の科学者育成プログラム	<p>未来の科学者を目指す生徒を育成するために、科学に興味がある中学生、高校生に対し、質の高い学習プログラムを提供する。</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	
○博物館管理運営	<p>貴重な文化財などの資料を収集、保管、展示するとともに、資料に関する調査研究を行う。</p> <p>1 加曽利貝塚博物館管理運営 2 郷土博物館管理運営</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	
○博物館整備	<p>国特別史跡を目指す加曽利貝塚の環境整備を行うとともに、老朽化が進んでいる博物館設備の改修を行い、施設環境の充実に努める。</p> <p>1 加曽利貝塚博物館 2 郷土博物館</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	
○市史編さん	<p>史料を基に千葉市の歴史を明らかにし、市民の郷土理解を深め、本市の歴史を後世に伝える。特に失われつつある近現代史料の収集調査を重点的に行う。</p> <p>1 千葉市関係史料の調査・収集・整理 「千葉市史 史料編 近現代」史料収集調査 2 普及活動（市史研究講座・古文書講座ほか）</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	
○埋蔵文化財調査センター関係	<p>文化財の保存及び活用を図るため、埋蔵文化財調査センターの管理運営を行う。</p> <p>1 緊急発掘調査 2 埋蔵文化財調査センターの管理運営</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	
◎加曽利貝塚出土資料再整理	<p>加曽利貝塚の国の特別史跡への登録申請に向け、出土資料の再整理を実施する。</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	
○旧検見川無線送信所文化財調査	<p>旧検見川無線送信所の今後の保存整備活用について具体的な検討を進めていくために、建物の歴史的な重要性及び保存方法に関する調査を行う。</p> <p>[生涯学習振興課]</p>	新規

4 財 政

(1) 平成25年度当初予算

ア 予算規模

(単位：百万円、%)

区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		増減額 (A) - (B)
	(A)	増減率 (%)	(B)	増減率 (%)	
一 般 会 計	359,500	△1.7	365,840	2.1	△ 6,340
特 別 会 計	389,170	0.4	387,516	5.2	1,654
合 計	748,670	△0.6	753,356	3.7	△ 4,686

イ 歳 入

歳入予算の款別内訳

(単位：百万円、%)

区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		増減額 (A)-(B)=(C)	増減率 (C) / (B)	(参考) 前年度増減率
	(A)	構成比	(B)	構成比			
市 税	170,500	47.4%	170,800	46.7%	△ 300	△ 0.2%	△ 0.1%
国庫支出金	51,166	14.2%	47,637	13.0%	3,529	7.4%	△ 12.3%
市 債	40,124	11.2%	38,378	10.5%	1,746	4.6%	3.5%
諸 収 入	38,453	10.7%	49,993	13.7%	△ 11,540	△23.1%	22.7%
県 支 出 金	11,536	3.2%	12,106	3.3%	△ 570	△4.7%	9.8%
地方消費税 交付金	8,963	2.5%	9,374	2.6%	△ 411	△4.4%	3.9%
使用料及び 手数料	8,687	2.4%	7,856	2.1%	831	10.6%	△ 0.8%
繰 入 金	6,976	2.0%	3,244	0.9%	3,732	115.0%	35.6%
地方交付税	5,900	1.6%	9,600	2.6%	△ 3,700	△38.5%	60.0%
そ の 他	17,195	4.8%	16,852	4.6%	343	2.0%	△ 10.0%
合 計	359,500	100.0%	365,840	100.0%	△ 6,340	△1.7%	2.1%

ウ 歳 出

歳出予算の款別内訳

(単位：百万円、%)

区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		増減額 (A)-(B)=(C)	増減率 (C) / (B)	(参考) 前年度増減率
	(A)	構成比	(B)	構成比			
民 生 費	130,046	36.2%	123,815	33.8%	6,231	5.0%	△1.2%
公 債 費	56,306	15.7%	57,416	15.7%	△ 1,110	△1.9%	0.4%
土 木 費	41,298	11.5%	41,848	11.4%	△ 550	△1.3%	5.6%
商 工 費	32,427	9.0%	41,964	11.5%	△ 9,537	△22.7%	22.1%
総 務 費	30,241	8.4%	28,431	7.8%	1,810	6.4%	△ 0.1%
衛 生 費	27,691	7.7%	27,939	7.6%	△ 248	△0.9%	△ 3.7%
教 育 費	24,234	6.7%	24,605	6.7%	△ 371	△1.5%	△ 12.7%
消 防 費	11,295	3.1%	13,809	3.8%	△ 2,514	△18.2%	16.7%
諸 支 出 金	2,234	0.6%	2,251	0.6%	△ 17	△0.8%	741.8%
そ の 他	3,728	1.1%	3,762	1.1%	△ 34	△0.9%	△ 5.3%
合 計	359,500	100.0%	365,840	100.0%	△ 6,340	△1.7%	2.1%

(2) 社会教育費当初予算額一覧 (平成25年度)

(単位：千円、%)

科 目	平成25年度	平成24年度	前 年 度 と の 較 比
一 般 会 計	359,500,000	365,840,000	△ 6,340,000
教 育 費	24,234,356	24,605,180	△ 370,824
一般会計に対する教育費の割合	6.7%	6.7%	0.0%
社会教育費 (人件費含む)	4,539,812	4,365,191	174,621
社会教育総務費	2,988,280	2,962,255	26,025
公民館費	481,484	459,075	22,409
南部児童文化センター費	108,300	5,501	102,799
文化財保護費	96,401	82,331	14,070
図書館費	789,436	791,112	△ 1,676
博物館費	75,911	64,917	10,994
社会教育費 (人件費除く) (A)	2,568,800	2,364,767	204,033
一般会計に対する社会教育費の割合	1.3%	1.2%	0.1%
教育費に対する社会教育費の割合	18.7%	17.7%	1.0%
年 度 当 初 人 口	962,424人	961,813人	611

(単位：千円)

社会教育施設整備事業費 (B)	267,057
公民館改修	58,599
加曽利貝塚博物館整備	14,604
郷土博物館整備	6,000
図書館整備	80,654
市債償還等	107,200

$$\text{社会教育運営活動費} = \text{社会教育費(人件費除く) (A)} - \text{社会教育施設整備事業費 (B)}$$

2,301,743千円 2,568,800千円 267,057千円

推移 (単位：円)

年度	社会教育運営活動費	市民一人当たり換算
21	2,614,053,000	2,750
22	2,570,185,000	2,683
23	2,464,296,000	2,559
24	2,335,373,000	2,428
25	2,301,743,000	2,391